

# 11 分身ロボットでかなえたいこと

「私」は人とのコミュニケーションを支援するロボットを開発しています。このロボットはインターネットを通じて動かせる仕組みで、病気、障がいなど、環境による「孤独」のストレスに悩む人たちの分身となることができます。つまり、たとえ身体が動けなくとも分身ロボットで人と出会い、人生を楽しむことができるのです。



わたし 私 (吉藤健太朗さん) と  
分身ロボット



分身ロボットで  
病室から遠足に  
参加する子ども



## ロボットいろいろ

ロボットというと、どんなものが思い浮かびますか？

工場などで使われている産業用ロボットは、人が立ち入ることができないような場所でも作業することができます。医療分野で使用されている手術支援ロボットは、体を開けた小さな穴からの手術を可能にし患者さんの負担を大幅に軽減します。他にも、レストランで食事を運んでくれる配膳ロボットや、会話のできるコミュニケーションロボットなどもあります。

社会や家庭で、さまざまな形をしたロボットが私たちの生活をさらに便利に、快適にするよう活躍しています。



手術支援ロボット「hinotori™」

写真提供：株式会社メディカロイド



配膳ロボット「ベラロボット」



コミュニケーションロボット  
「ロボホン」